

総合的調査診断手法(SRD)

NADA協会（日本アスベスト調査診断協会）が推奨する手法で専門家が総合的に診断するものです。まず、一次スクリーニング（資料調査）を行い使用材料の把握、その危険度レベルを求めます。その後、二次スクリーニング（現地調査）で現状を記録するとともに危険度を診断します（必要に応じて分析作業も行います）。これらの調査結果をもとに評価書を作成します。

一連の調査はアスベスト診断士が担当するとともに、各段階において、NADA協会が認定する審査員がチェックを行うことで、総合的調査診断が可能となります。

◎調査の流れ

